

令和4年度 第2回大和市スポーツ推進審議会 会議録

会議名	令和4年度 第2回大和市スポーツ推進審議会	
開催日時	令和4年12月27日（火）午後3時～午後4時35分	
開催場所	大和スポーツセンター体育会館 2階会議室	
出席状況	委員	10人（荻窪会長、古市副会長、姉崎委員、長谷川委員、山内委員、小澤委員、八柳委員、林委員、高橋委員、靄山委員）
	事務局（担当課）	事務局3人（スポーツ課長、他担当2名）
	傍聴人	0人
担当課	文化スポーツ部スポーツ課スポーツ推進係 内線（5762）	
公開・非公開の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開	

1. 会議次第

(1) あいさつ

(2) 議題

①スポーツ施設等における令和4年度上半期指定管理業務について

②大和市スポーツ施設設置条例の一部改正について

(3) 報告

①「第2期大和市スポーツ推進計画」に係る中間アンケート調査結果について

②ねんりんピック 2022 太極拳交流大会について

③第65回大和市駅伝競走大会について

④令和4年度スポーツ課関係主要事業について

⑤学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン（案）について

(4) その他

2. 審議又は検討経過及び結果 主な内容は次のとおり

【(2)議題①スポーツ施設等における令和4年度上半期指定管理業務について、事務局より説明】

●委員

スポーツ施設の利用料について、大和市条例により、委託期間はこの料金で設定するように決められているのか。

○事務局

指定管理者が大和市条例で定められた金額を超えない範囲で、設定している。

●委員

もう少し独自性を持って、赤字であれば料金を上げる等はできないのか。

○事務局

条例を超えなければ可能だが、現在は条例と同じ金額で設定しているため、条例改正をしなければ、例えば単年のみ料金を上げるということはできない。

●委員

今の金額というところにも少し付随した話になるが、スポーツ施設については昨年特にコロナの影響で閉鎖等なかったことはとてもよいことだと思う。ただ他の市内の指定管理の状況を見ると、例えばバーベキュー場であれば、3日しか開放していなかったのに、満額の指定管理料が支払われているような事例も見受けられるので、指定管理料を満額支払うのであれば、基本的には閉鎖することがないようにお願いしたい。

【(2)議題②大和市スポーツ施設設置条例の一部改正について、事務局より説明】

●委員

以前から、大和スポーツセンタープール（以下、「プール」という。）の在り方について、このまま使ってよいのかという意見が多数あった。それなのに、今回駐車場を造るという理由からプールを廃止するというのは、情けなさすぎる。ずっと前からプールは廃止すべきだった。今回、東名下の臨時駐車場が使えないから、プール跡地に駐車場を造ろうというのは、打算的ではないか。もう少し計画的に動いてはどうか。また、資料に駐車場として防災上の観点からも有益となる、との記載があるが、これありきで今回の話が出たのか、他に使い道がないのか、もっと検討すべきだ。今回、プール跡地に造る駐車場は平置きとのことだが、将来的なことを考えれば、大和市内の施設の駐車場は、絶対有料化すべきだと思う。さらに、立体駐車場にしたほうが利用台数は増えるのではないか。

○事務局

プールについては、利用人数が当初と比べて年々減ってきているという現実があった。直近10年では、平均94人/日であり、最盛期の約350人/日と比べるとかなり減っていた。ただこれまで維持管理面で大きな故障もなく、継続して施設を運営してきた。しかし、令和元年度にろ過機が故障し、修繕が必要な状態となっているが、維持管理に約1,100万円/年かかっており、利用料収入は100万円/年であるため、費用対効果の面からもかなり赤字が出ている。コロナ禍やろ過機の故障もあり、大規模修繕により費用をかけるのであれば、東名下臨時駐車場もなくなることから、大和スポーツセンターの利用者も多く、駐車場が不足している課題もあるため、これを機に市としては今回の結論に至った。

●委員

プールの廃止について、収入のバランスとしては廃止するべきだと思っているが、代わりに駐車場を造ることについては、あまり得策ではないような気がする。土日に駐車場の利用が多くなるという話が出たが、競技場でのイベント開催時は、全員が止められるわけもなく、駐車場を増やしてもいちごっこのような気がする。仮にトップリーグクラスの試合を行うとなると、普通は駐車場がない会場も多い中で、わざわざ駐車場を設ける必要はないと思う。この中で、プール跡地をどうすればよいのか考えた時に、合宿所を造って合宿の誘致をする等、新しいことをやるための資源の場所としてうまく活用できないか、と個人的には思う。駐車場を造れば、完成後はそれでおしまいという形になる。今後、大和で新しい形で何か始められるよう、土地や資源を活用していただきたいと思う。

●委員

資料には、プール跡地の案として駐車場しか記載されていないが、他の意見はあるのか。他の意見があれば、本審議会委員にもぜひ教えていただきたい。

○事務局

現在、意見の公募中であり、公募終了後に、本審議会委員の皆様には、お示しする予定である。

●委員

駐車場案は、どこから出たものなのか。

○事務局

市で検討した結果、駐車場案について、意見がまとまった。

●委員

その意見として、今回提示されたということか。

○事務局

おっしゃるとおりである。今回のプールの廃止については、今後の方向性を市の方で検討し協議を行った。現在、課題として大きいのが土日の駐車場の満車についてであり、大会等があると道路に車が並んでしまうという問題が発生している。また駐車場の整備の要望もあり、東名下臨時駐車場がなくなるということも重なり、今後の方向性としてプール跡地について駐車場を造ることになった。

●委員

駐車場案については、本審議会に諮問されたわけではないということによいか。一般市民として意見を聞かれているということによいか。

○事務局

おっしゃるとおりである。

●委員

本審議会では、本審議会委員の意見として伺うだけでよいか。

○事務局

おっしゃるとおりである。

●委員

プールを廃止することは決定しているのか。

○事務局

今後の予定として、プールを廃止することに関する条例改正を行う予定である。その前に、現在公募中のご意見や、本審議会委員のご意見をお聞かせいただきたいと考えている。

●委員

意見として出すのはよいが、総意として出すのは違うと思うので、その点をお願いしたい。

●委員

逆の発想として、人を集めるために横浜国際プールとまで言わないが、ちゃんとした温水プールを造れば、人が来るのではないか。そもそもお金がなければ、できないと思うが。

○事務局

再度プールを造るとなると、敷地面積もあり市民ニーズに合うようなレジャー施設的な大きいプールはなかなか造れないことや、現在、引地台公園温水プールもオープン当初と比べると、年々利用者数が減っている状況にあることからプールの建て替えについて現時点では、難しいと考えている。

●委員

プール跡地を駐車場にするということで進めるのであれば、利用者以外の方が駐車場を利用している可能性もあるため、(利用者以外の駐車を)排除するため、有料化してはどうか。

●委員

大和スタジアムの横に立体駐車場があるのだが、非常に使いにくく、大和スタジアムのグラウンド利用は、21時までなのに関わらず、同時刻の21時で終了してしまう。この駐車場は有料なのだから、発想を変えて、地元の人が夜、使用してもよいように有料にして、朝からは利用者が使えるというようなものでもよいのではないか。

●委員

4月以降に工事開始予定ということは、議会で予算承認される必要があるのではないか。条例改正するということが決まっていなくて4月からの工事は無理だと思うが。

●委員

1月の議会に上程するのか。

○事務局

2月の議会に上程する予定である。

●委員

収益を考えるのであれば、テニスコートにするのもよいのではないかと。本審議会委員も何か意見があれば、個人的に一般公募へ意見を提出する形でもよいのではないかと。

●委員

こういう計画があるということなので、これまでの審議も踏まえて、審議会委員の皆様も意見があれば一般公募へ提出していただければと思う。スケジュールは決まっているとは思いますが、内容については検討していただく余地は残していただきたい。

【(3)報告①「第2期大和市スポーツ推進計画」に係る中間アンケート調査結果について、事務局より報告】

●委員

「問7 公共のスポーツ施設に対して要望等がありますか」という設問に対して、「①施設数の増加」という回答が1番多かったことは、先ほどの駐車場を造るという話と相反するところがあると感じる。また、年齢層にあった運動というところもあると思うので、例えばプールを泳ぐだけでなく、アクアフィットネスという形で、高齢化していく中で、プールを活用した運動というのもすごく可能性があると思ったが、おそらく予算的な問題等もあると思う。施設数の増加ということと、プールを壊して駐車場を造るというのは、方向性が合致していないということを感じた。

●委員

市民の声を汲み取って生かしてほしい。東京オリンピック・パラリンピックに関心を持った種目で、スケートボードに注目が集まっているのであれば、その施設を造るというのも手であるし、託児所の増設の希望があれば、それを造るのも一つの案ではないかと思う。本アンケート調査結果に色々なヒントが隠れているので、結論づけてしまうのはまだ早いのかなという気はした。

●委員

アンケートの送付先は無差別なのか。

○事務局

アンケートの送付先は、無作為に抽出している。ある一定の年代、性別に偏ることがないように、まんべんなく幅広い年代、性別になるよう抽出している。

【(3)報告②ねんりんピック 2022 太極拳交流大会について、事務局より報告】

●委員

大和市太極拳協会は、大和市体育協会に加盟しているのか。

●委員

おっしゃるとおりである。私も当日出席したが、非常に盛り上がった大会であり、一般市民の応援が多くて驚いた。

【(3)報告③第65回大和市駅伝競走大会について、事務局より報告】

●委員

資料に、一般Bの部・中学生の部の5区の記載が抜けているのではないかと。

○事務局

おっしゃるとおりである。5区は2, 4 5 5 mである。

●委員

補足だが、今大会は、各チームの選手及び関係者について、スタンドの割り振りを行う。そして、開会式を省略し短めに行う予定である。観客席に向かってご挨拶いただくことで考えている。道路警戒員については、体育協会をはじめとした各団体へご協力いただくことで進めている。スタート前まではマスク着用等の新型コロナ対策も行っていく。

【(3)報告④令和4年度スポーツ課関係主要事業について、事務局より報告】

●委員

今年度、女子サッカー観戦デーはすべて終わったということによいか。

○事務局

お見込みのとおりである。

●委員

2月11日(土曜日・祝日)開催予定の「第48回大和市スポーツ人の集い」は、懇親会は行うのか。

●委員

行わない。今、話が出たが2月11日(土曜日・祝日)大和市文化創造拠点シリウスにて「第48回大和市スポーツ人の集い」及び「大和市体育協会創立70周年記念式典」を行う予定である。例年だと、表彰式、講演会及び懇親会を行っていたが、講演会、懇親会については、中止予定である。

【(3)報告⑤学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン(案)について、事務局より報告】

●委員

今、事務局から話があったように実際に現場でも動いていない。令和5年度～令和7年度の3年間をかけて、土日の部活動をクラブ化していくという方向性が示されているのだが、先日の文部科学省の話でも、期限を作らないという言い方に変わってきているので、場合によっては進まない方向性も考えられると思っている。とりあえず学校の中では、それぞれの種目によって、進み具合がたぶん違うと思うので、各学校の顧問と学校の管理職と相談しながらどういう形で進めていけるかということを確認しながら、徐々にだが進めていくという方向になっている。大きく県で決まっているのが来年度の神奈川県の中学校の大会に、クラブが参加できることが決定している。今までは部活動でないと参加ができなかったが、クラブでも参加できる方向性が示されているが、県もどういう形で参加させるか、ということまではまだはっきり決まっていない状況なので、なかなかすぐ動くというのが難しい状況である。

●委員

中学校の大会にクラブ名でも参加できるのか。中体連のことでよいか。

●委員

おっしゃるとおりである。ただし、部活動とクラブで2重で出場することはできない。今までの中体連の夏の大会は、学校単位で出場していた。これからクラブで出場する場合は、例えば大和市の生徒もいれば、座間市の生徒もいるので、どこで出場するのか等はまだ決まっていない。

●委員

このことについては、文部科学省から出たものに従って淡々と進めていくのか、それともスポーツ課なり行政のどこかがリードをとってやっていくのか、あるいは学校の意見を汲み取るのか、どういう方向で進めていくのか？

○事務局

現在、教育委員会と文化スポーツ部で情報共有しながら、一緒に進めている状況である。ただ部活動が現在どういう状況にあるか等分からない部分もあるため、会議等に一緒に出させていただいている。現時点での考え方としては、急に部活動を地域に移行することは、受け皿の問題もあるため、徐々に移行できればということ考えている。

●委員

体制を整えていくことと同時に意識的なところも考えていかななくてはいけないのではないか。学校部活動と地域クラブは同じスポーツでも、育成の仕方や目的、どこに向かっているのかについて違うと思うので、そこらへんの意識をどう摺り寄せていくか、あるいは完全に割り切って平日はこのやり方、土日はこのやり方と行うのか、体制とともに意識も考えていかないといけないのではないか。

○事務局

部活動は、人間形成の部分も強いので、そういったところも考えていかななくてはいけない。

●委員

部活動がよいか、(地域)スポーツがよいかということは、働き方改革の一環としての依頼であると思うので、難しい。

○事務局

国は当初、働き方改革がきっかけでこの話が始まったが、休日は地域に、将来的には平日も地域に移行していくという理想の話が先に出てきてしまって、基本的なところの話があまり進んでいないと感じている。

●委員

競技スポーツと生涯スポーツを分けて考えなくてはいけないと思う。先ほどのアンケート調査でも、(運動やスポーツをしなかった理由として)運動が好きじゃないから、苦手だからという数値が高いと思う。なるべくそういった人たちを作らないように、教育委員会やスポーツ課でこれから打ち合わせをしていく段階かと思うが、なるべくこういった方を増やさないようにするのがスポーツ課としての使命かと思う。上手な子だけがスポーツをやる場ではなく、スポーツをやる人の競技人口を増やすというところが、スポーツ課でしかできないことだと思う。

審議終了

以上